

1. 次の建築作品・著作の施主または作者を右の3群の中から選び、解答欄に数字で記入せよ。

- 01) マルカタ王宮： 第3王朝ネテリクヘト王 第4王朝スネフェル王 第18王朝アメンヘテプ3世
- 02) コロッセウム(ローマ)： ウェスパシアヌス帝 ハドリアヌス帝 セプティミウス・セウェルス帝
- 03) 現サンタンジェロ城(ローマ)： ハドリアヌス帝 マルクス=アントニウス=アウレリウス帝 ホノリウス帝
- 04) バシリカ形式のサン=ピエトロ大聖堂(ローマ)： 聖ペテロ トラヤヌス帝 コンスタンティヌス帝
- 05) アーヘン宮廷礼拝堂の八角形クーボラ： ユスティニアヌス大帝 カロルス大帝 フリードリヒ大王
- 06) サント=シャペル礼拝堂(パリ・シテ島)： 若年王ルイ7世 尊厳王フィリップ2世 聖王ルイ9世
- 07) 13世紀ピカルディ語で書かれた『画帖』： シュジェール ヴィラール・ドゥ=オヌクール マテュー・ダラス
- 08) ローマの城壁(総延長20km)： アウグストゥス帝 アウレリアヌス帝 ロムルス・アウグストゥルス帝
- 09) パリの城壁(総延長34km)： セバ스티アン・ル=プレストル、ヴォーバン元帥 ナポレオン1世 ティエール
- 10) サンタ=マリア・デル・フィオーレ司教座聖堂クーボラ： フィリップ・ブルネッレスキ ユリウス2世 レオ10世
- 11) 『建築の五つのオーダー』： レオン=バティスト・アルベルティ ヤコブ=ハロツィ・ダ=ヴィニョーラ ジャン・ピュラン
- 12) テュイルリー宮殿： フィリパール・ドゥ=ロルム ジャック・アンドゥルーエ=デュ=セルソー フィリパール・ル=ロワ
- 13) セント=ポール大聖堂(ロンドン)： イニゴ・ジョーンズ ジャン=ロレンツォ・ベルニーニ クリストファー・レン卿
- 14) ザンクト=ヨーハン=ネポムーク教会(ミュンヘン)： ペロー兄弟 アザム兄弟 アダム兄弟
- 15) ヴェルサイユ宮殿大小厩舎： フランソワ・マンサール ジュール・アルドゥアン=マンサール クロード=ニコラ・ルドゥー
- 16) ツヴィンガー宮殿(ドレスデン)： マテウス=ダニエル・ペッペルマン レオ・フォン=クレンツェ ゴットフリート・ゼンパー
- 17) ルイ15世(コンコルド)広場： ジョヴァンニ・ガブリエーリ エミリオ・デ=カヴァリエーリ アンジュ=ジャック・ガブリエル
- 18) スーピーズ邸館内装(パリ・マレ街)： ジェルマン・ボフラン ロバート・アダム ジョン・ソーン卿
- 19) サント=ジュヌヴィエーヴ教会： フィリパール・ル=ロワ ジュリアン=ダヴィッド・ル=ロワ ジャック=ジェルマン・スフロ
- 20) フリードリヒ大王記念堂案： フリードリヒ2世 フリードリヒ・ジリー カール=フリードリヒ・シンケル

- 01) 02) 03) 04) 05) 06) 07) 08) 09) 10)
- 11) 12) 13) 14) 15) 16) 17) 18) 19) 20)

2. 次の文章中の空欄を適切に埋める名詞を解答欄に記入せよ(アルファベットは不可、君主名以外の人名はフルネーム)。

- 1) ユリウス・カエサルに仕えた(a)技師といわれる(b)は、現存する古代唯一の建築書である『建築十書』第1書の中で、建築術は、「建物」を建てる術、「日時計」を作る術、「(c)」を造る術からなると定義した。さらに、「建物」を「公共建築」と「私人の家」に分け、「公共建築」は「(a)建築」、「(d)建築」、「実用建築」の3種に分類している。
 - a)
 - b)
 - c)
 - d)
- 2) カトリック教会は、(a)を現世での最高指導者と仰ぎ、各地方の司教区には長として司教を置くという組織になっている。カテドラルとは厳密には(b)聖堂のことだが、それに次ぐ格を持ち、高位聖職者の集団が管理する(c)聖堂もそうよばれることがある。今もロマネスク様式や(d)様式の中世カテドラルが西欧各都市の中心に聳える。
 - a)
 - b)
 - c)
 - d)
- 3) 1494年、国王(a)がイタリアに侵攻して以来、新たなルネサンス芸術に魅了された歴代フランス王は自らの城館を新様式で新築、増改築していった。特に(b)河畔にはシャンボール城館など多くの例がある。また、ピュリー城館では、田園の貴族住宅である「城館=(c)」と都市の貴族住宅である「邸館=(d)」の基本平面形が成立した。
 - a)
 - b)
 - c)
 - d)

- 4) 1517年のマルティン・ルターの抗議に端を発するプロテスタント諸派の「宗教改革」に対して、カトリック側からの自己改革の動きを「(a)」といい、(b)様式はその芸術的表れである。形態的には、凹凸の激しい壁面や楕円の使用が特徴で、(c)が設計した(d)教会(四つの泉のある四辻に面していることからそう呼ばれる)が代表例である。
- 5) 18世紀には古代(a)建築に対する関心が、発掘や実測の進展、(b)著『(a)芸術模倣論』などの著作によっても高まっていった。1830年にオスマン・トルコから独立した(a)王国の国王オットー1世の実家たるバイエルン王国でも、ルートヴィヒ1世の許、(c)が設計した(d)「彫刻美術館」の意)などのネオ・グreek建築が花開いた。

3.下に掲げる主題について、イラストを描き、さらに自由かつ適切に述べよ。

- 1) 初期キリスト教教会の代表的建造物の名称を書け。また、その断面略図を描き、堂内の採光法について説明した上、略図に知る限りのディテール名を書入れよ。
- 2) 古典主義建築の5種類のオーダーを太い方から順に書け。また、コリント式オーダー略図を円柱下端から軒先まで描き、そこに知る限りのディテール名を書入れよ。